

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.314

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）

第4回「納期遵守率を向上させる！実務における工程管理」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として、中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、第4回として、「納期遵守率を向上させる！実務における工程管理」を開催しました。

■ 日 時：2025年9月18日（木）13時30分～15時30分

■ 場 所：Web形式

■ 参加者：46社／126名

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 様
2025年度カイゼンベースWEBセミナー

KAIZEN BASE

カイゼンベース株式会社
〒160-0079 東京都港区港南5丁目15-1 パークエスト4F
TEL: 03-6368-5620 (代表) 03-6368-5621 (受付)
FAX: 03-6368-7148
Email: info@kaizen-base.com

納期遵守率を向上させる！実務における工程管理

①. はじめに（生産管理について）

KAIZEN BASE

工程管理とは、お客様から依頼された製品を、所定の数量・品質・価格・納期で納品するために行なう“製造工程の管理活動”のこと。

工程管理は生産管理の一部

- 生産計画：日程計画、投資計画、人員計画 etc.
- 生産管理：生産手配、資材手配、外注手配、輸送手配 etc.
- 生産統制（工程管理）：工程計画、進捗管理、現品管理、余力管理、実績管理 etc. 一般的な工程管理の範囲

②. 生産統制の考え方と工程管理のポイント

KAIZEN BASE

2. 日常的に行なう工程管理の業務

工程管理担当
生産計画に対する進捗を確認
各工程のリーダーと共に日々回す！
挽回策の実行、必要に応じて計画を修正する

工程管理
工程計画・事前検討
作業指示・作業実行
実績管理・改善

管理職
定期的に第3者視点で状況チェック
納期遵守率、目標達成率等を定量評価

③. 10分ミーティング

KAIZEN BASE

1. 10分ミーティングの必要性

進捗管理図／管理表を個々人で判断
勘違いや思い込み、自工程を優先した考え方になってしまうことも。

毎日の10分ミーティングが有効
生産管理、工程管理、現場、（営業、工場長）等の関係者が集まり顔を突き合わせて最新の状況を確認しよう

④. ジャストインタイム

KAIZEN BASE

2. 工程管理と7つのムダ

トヨタ生産方式の7つムダ

- か 加工のムダ
- ざ 在庫のムダ
- つ 運びすぎのムダ
- て 手持ちのムダ
- と 動作のムダ
- う 運搬のムダ
- ふ 不良・手直しのムダ

「飾って豆腐」と覚えよう！

⑤. 5S活動の徹底

KAIZEN BASE

1. 5S活動の必要性

- ✓ 情報の一元化
- ✓ 負荷の平準化
- ✓ 進捗の見える化
- ✓ 10分ミーティング
- ✓ ジャストインタイム

これらを円滑に行なう為の土台となる活動
5S活動！

5Sが出来ていないと・・・
いくら情報の一元化をしてもモノと情報が紐付かない
モノがどこにあるのか一目で判らないので、進捗がリアルタイムで把握できない etc.

【参加者の声】

- ・生産管理は納期だけではなく品質やコストも管理すること、進捗管理のミーティングは遅れている工程や担当者責めたり非難したりする場ではないこと、問題が発生するのは現時点の仕組みが最適ではないこと、という考え方は大変参考になった。
- ・10分ミーティングや過剰在庫についての考え方、段取り改善など、当社でも意識していたつもりだったことが重要だとわかり、特に参考になった。
- ・今まで納期遵守やコストを優先させることに意識が傾き過ぎていて、各種のムダが二の次になっている部分があったので、意識から見直しする必要性を感じた。10分ミーティングのところで、メールや管理表だけではなく、顔を突き合わせて話すことの重要性を再認識した。
- ・現場と生産管理担当のコミュニケーション不足は否めないため、風通しの良い働きやすい職場を目指すには、互いの立場に寄り添い、10分ミーティングの大切さを実感した。
- ・定常業務として当たり前になしていた工程管理業務の内容を、時系列に整理して視覚的に表現していただくことにより、自分の業務を改めて俯瞰できたのと、生産管理と工程管理の一体的な相関についても改めて意識することができた。
- ・今回のセミナーを通じて、「生産管理の3本柱（計画・手配・統制）」について理解が深まった。特に、自身の業務が「前工程の延長」ではなく、納期遵守を遂行する役割の一部であることを再認識できたことが大きな学びとなった。出荷担当として、お客様対応や工程管理担当者とのやり取りを日常的に行っているが、その背景にある「仕掛品の流動状況」や「工程管理の視点」をより深く理解することが、納期遵守につながると実感した。
- ・今まで理解していると思っていたが、再確認することができた。特に10分ミーティングでの「協力し合って問題解決を」、「遅れている工程や担当者責めたり、非難したりする場ではない」について再認識することができた。
- ・在庫を多く作れば良いというわけではないことがわかった。多くの在庫を持つと過剰在庫となりムダになるので、重大な問題であることに気づいた。
- ・5S活動ができていそうで、できていないことに気づいた。ロケーション管理について諸番地表示を行っているが、3定管理がしっかりできていないため、在庫の場所や量がバラバラで誰でもわかる状態ではない。現品表示をどう実施すればよいか考えたい。
- ・工程管理表の基本を改めて認識できた。ジャストインタイムや3定管理等わかっているもののワードを改めて勉強したことにより、忘れてしまっていたことを再認識できた。
- ・生産管理と工程管理の違いや工程管理のポイントが参考になった。在庫のムダが一番悪いので、今後は今まで以上に在庫を意識して業務に取り組んでいきたいと感じた。
- ・生産管理の3要素は理解していたが、3要素+4大経営資源を最大限活かせるような視点を持って生産を管理することが重要なことだと知ることができた。トヨタ生産方式の7つムダの中で、造りすぎのムダが様々な理由から一番悪いムダであることが理解できた。
- ・現場を主役として見ることで生産効率の向上に繋ぐ視点は初めて知った。生産管理はQCDだけでなく、経済的な広義からの面で工程管理することが大事ということを学んだ。
- ・納期遵守や無駄の排除、管理方法など、生産だけでなく開発の現場でも生かせる内容だと感じた。
- ・生産管理の3本柱（基本）から始まり、生産管理の3要素の視点だけでなく、4大経営資源の視点が重要であることを認識できた。納期遵守率を向上させる工程管理の6つの取り組みが重要であり、10分ミーティング、ジャストインタイム、5S活動の徹底についてよく理解できた。